



横濱佛字新聞
琉球日本支那三國ノ關係
前号ノ續

第三号



414
A-741
3



琉球日本支那三國ノ關係前号ノ續

當時ノ

ス其望ヲ海外ノ經略ニ属ス可ラカルハ昭々トシテ掩フ可ラ
明ノ歷代諸帝ハ人スノ及フ所至ラサル所ナク西方經營シテ六
祖ガ權謀ノ結果ヲ保タントセシト雖モ第十三百紀ノ末ニ當リ
忽ク烈ク用ヒシ兵力ノ結果ニ勝ルヲ得カリキ西曆千四百年
足利義滿ノ死後ハ其子義持ヲ初メ世々日本王ノ封爵ヲ受ケシ
者更ニ無ク軌テ千五百九十五年ニ至リ曩ニ太祖ガ施セシ政略
ヲ琉球ニ永続セシメシガ為メ足利義滿ヲ封セル故例ヲ舉ケテ
豊臣氏ハ日本王ノ位ヲ授ケタレモ豊臣氏ハ封冊ヲ使者ノ面ニ
抛テ之ヲ外々汝ノ北京ニ封爵ヲ主トル皇帝アリト雖モ日本ニ
モ亦々齊シク皇帝ノ在ル有ルヲ知ラズヤ且我已ニ日本皇帝ノ
命ヲ受ケテ將軍職ニ在リ夫レノ封爵ヲ何ニカセントノ意ヲ示

大正十一年四月
大隈伯爵寄贈

藤井善言譯

大正十一年四月

セリ
加之支那ノ不幸益々増加シテ彼ノ千六百九年ノ事件起レリ當時琉球王ハ是等ノ事情ヲ不知ラヌ猶ホ支那ヲ母トシ主君トシテ心ヲ寄スト至氏支那ハ一言ノ之ヲ庇護ス可キ權ヲ有セサルニ依テ尚寧終ニ巨額ノ贖罪金ヲ収メ自今而後固ク日本帝ノ制令ヲ遵奉セント誓テ本國ニ歸ルヲ得タリ
是ヨリ以後ハ琉球王前日ニ倍シテ屢々使者ヲ將軍ノ居城ニ送り其来ルヤ必ス幣帛ヲ厚クシテ日本帝ヘ獻セリ
惜又琉球人ハ日本ヲ侮リシ責罰極メテ重クシテ其心魂ニ徹セラルヲ表スル為メ百事慎重勉メテ其野心ナキヲ示スト至氏未ダ全ク交ヲ支那ニ絶ツヲ要セズトシ國事ニ関セズ法度ニ觸レル事ナリト思考スル所ノ交通ヲ断エス行ヘリ但シ是迄亦感北京朝廷ヘ送リシ貢物ヲ賜版ニ改メタリ本ニテ嚴シク詰ル

ハ琉球ノ支那ニ交通スルコトハ全ク止レムルヲ得可シ何トナレバ西曆千六百十三年ニ定メタル誓書ニ琉球王ハ以薩州公ノ明許ヲ受ケサレバ一切支那ト交通セズト盟ヒシ故ナリ然レ氏日本ノ憎憎ニハ凡ソ犯セル所ノ法ヨリモ是ヨリ生スル所ノ利害ノ多少ヲ以テ事ノ大小罪ノ輕重ヲ定ムルヲ常トスル風ナリシ故琉球ガ支那ニ通スルヲ默許シテ不都合ナカリシナリ
是ヲ以テ其後封冊ノ式ハ絶エス行ハルト至氏諸人ハ之ヲ空名ニシテ國事ニ関スル性質ノモノト見做サズ又琉球ヨリ北京朝廷ト福州府ヘ送リシ貢物ハ南京留學生ノ謝金其他日本商人ガ福州ニテ行フ貿易ノ免許料ト見做セリ就中其福州府ヘ納ル貢物ノ如キハ該地ニ通高スル荷蘭葡萄牙ノ如キ外國人ヨリ納レシ貢物ニ異ナラス是レ方今支那ト通商スル諸國人カ拂フ所

ノ噸税関税ト同一ナリト云々可シ

由是觀之到底支那ハ琉球ト交通スト至氏島津氏ケ加ヘシ盛力
ノ依然トシテ減セス及ヒ西曆七百三十五年ニ當リ聖武帝ガ勅
シテ琉球ヲ日本ノ属國ト為セル明文旧ノ如ク存スル間ハ日本
ト共ニ琉球ノ國事ニ関スル権理ノ輕重ヲ爭フ可ラサルヤ固ヨ
リ論ヲ俟タズ

